



「障害があっても仕事ができる！障害等の有無に関係なく、全ての人が生きがいを持って自分らしく生活できる社会の実現」の支援体制と連携の取組を強化

基本情報

- 所在地：高知県安芸市
- 団体名：安芸市農福連携研究会
- 取組パターン：中間支援の取組
- 主力商品：ナス、ユズ
- イベント：農福連携高知県サミットinあき

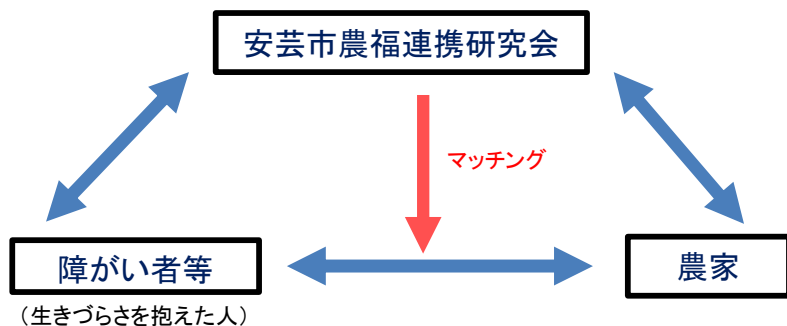


農福連携高知県サミットinあき

取組の概要

- 毎月の定例会を通じて関係機関との情報交換を積極的に行う事で、現状必要な支援・方法・問題点等を洗い出し解決を図る。
- 安芸市における農福連携の仕組みづくりと障害者理解についての講演や実際に障害者等を雇用している農家の体験発表をする事で、取組に対する理解を浸透させる。
- 農作業の切り分けを農家に依頼したりわかりやすく作業ができるように動画を作成するなど、素人でも積極的に参加できる仕組みづくり。
- 農業就労サポーターをJA高知県が雇用し障害者等の作業や心のケアと農家支援を行うことで、就労定着につながっている。

体制図



取組の成果

- 取組当初2018年度には農福連携に参加される経営体は11戸であったが2021年度には約2.5倍の27戸に増加。
- 障害者は取組当初に比べ約6倍の95名まで就労・雇用されている。
(一般社団法人こうち絆ファームも含む)
- 生活困窮から抜けだし200万円を超える貯金ができる利用者もいる。
- 一般就労が難しいとされた方でも関係機関やJA高知県安芸地区無料職業紹介所を通して一般就労につなげた例もあり。

所在地 ▶ 高知県安芸市幸町1-16

連絡先 ▶ TEL:0887-34-8325 FAX : 0887-35-8512

E-mail: aki-einokikaku@ja-kochi.or.jp

ウェブサイト ▶ <http://ja-kochi.or.jp>

【取組のプロセス】

2013年～

喫緊の課題である自殺対策から検討が始まった

きっかけ

自殺対策のためのネットワーク会議を発足。会議を重ねることで関係機関の連携が深まり、自殺以外の課題にも対応できる体制が整い始めた。

2018年～

会議を重ねるごとに自殺以外の課題にも対応できる体制が整備された

安芸市農福連携研究会の発足

○ 2018年、安芸市農福連携研究会発足。以降、下記の取組みを継続的に実施中。

- ・ 定例会
→ 毎月開催し、関係機関との情報交換を積極的に実施。
- ・ 講演会や研修会等
→ 安芸市における農福連携の仕組みづくりと障害者理解についての講演、実際に障害者等を雇用している農家の体験発表などを実施することで、取組みに対する地域や関係者の理解を深める。
- ・ 視察研修及び視察受入
- ・ 農業体験
→ 農作業や集出荷場の作業を実際に体験することで就労定着。



情報共有（毎月定例会）



雇用に向けた作業体験

高知県農業労働力確保対策事業を活用し「農福連携高知県サミットinあき」を開催

高知県農業会議農福連携推進支援障害者等試行就労受入体験事業を利用し収穫体験

一般社団法人こうち絆ファーム設立（2020年）農閑期の受け皿へ

2019年～

農業就労サポーターを導入

○ 2019年、農業就労サポーターを導入。障害者等の心のケアや農家の支援を担うことで、就労定着につながっている。



農業就労支援サポーターの支援

不登校の子どもを抱える家族を対象に収穫体験を実施引きこもりを未然に防ぐ

今後の展望

台風の日となり活動継続へ

- 障害者・引きこもり者・生活困窮者・高齢者に加え、触法者の受け入れと再犯防止への取り組みも一部はじまる。
- 安芸市から始まった「農福連携」が台風の日となり、県内各地域へ、さらには日本全国へ広がり「すべての人が生きがいを持って自分らしく生活できる社会の実現」に向け、安芸市農福連携研究会は活動を継続していく。



意見交換会（農家と関係機関）